

房総の自然と歴史、石仏、絶景を楽しむ
鋸山

実施日 2024年4月20日(土)
 天候 晴
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 福島政幸、山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、徳山敬子、計5名
 費用 2,772円(東京駅起算・休日割利用)
 タイム 浜金谷駅(10:25)車力道入口(10:40)休(11:00~11:10)分岐(12:00)岩の回廊(12:10~20)展望台(12:30~40)鋸山(13:10~40)分岐(13:55)岩舞台石切場(14:10~20)日本寺・地獄のぞき(14:40~45)関東ふれあいの道コース(15:00)観月台(15:25~35)浜金谷駅(16:00)

21日が実施日だったが雨予報の為、前日の20日に変更となった。今日はまだ四月なのに各地で夏日になるとか！下り立った浜金谷駅から5名は出発した。

道標に従い進むと分岐の車力道と階段400段の観月台方面に分かれる。

400段の急坂が真っ直ぐ延びている。迷わず車力道の舗装路に向かいやがて山道に分け入る。気温は上がり汗が吹き出し所々にあるベンチが有り難い。

ここで石切の歴史を！鋸山では江戸時代の後期から職人が鋼のつるはしで房州石を一人・8本/日 切り出した。ねこ車に1本80kgを3本載せ麓までの運搬は車力と呼ばれる女性たちでした。房州石は江戸方面の建設材として使われ明治算出量は年間56万本昭和60年を最後に幕を閉じたそうです。



大なるてな膨らめらね
 下を敷き詰める
 石が敷き詰める
 いる。この偉大
 力を思う時、頭
 がる想像でいっ
 ぱいです。徐々
 に高さをのぼ
 り、暫くすると
 回廊、吹抜の洞
 然現れ観る者
 させる。初めて
 する石切場！ど
 うやっ

てこうなったのか不思議で仕方ない。口を開けて見上げるばかりで写真を撮ってもこの迫力は肉眼に勝るものはないだろ

う。絶壁階段はくねくねと段差が半端なく、手すりはあるものの心が折れそうになる。漸く着いた展望台は歓声があがる



ほどの絶景が望めた。東京湾が港く一望！浜金谷港は良く保田漁港は富士の姿は春霞のせい眺めか残念一頻り眺めた後鋸山を目

指し展望台を後にした。329mの低山ではあるが侮れない山である。マップは10分とあるが行きはとんでもない。歩き難い階段、アップダウンの数々行けども山頂は見えず、漸く着いたが展望は浜金谷方面のみ、遅めの昼ごはんはベンチに背中合わせそれでも差し入れを頂いたりお喋りしながらゆっくりくつろいだ。

写真撮って貰おうと辺りを見たらいつの間にか一組のカップルしかおらず下りるところでiさんが「すみません写真を撮る！」と、快く応じてくれた。携帯を受け取ったら「ハイ5000円です」もう明るいお兄さん大爆笑でした。



山頂を後に来た道に戻り地獄のぞき方面へ向かった。岩舞台石切場もその大きさに圧倒された。見上げるとあれが地獄のぞきか人々の頭が動いている。

日本寺経由で保田駅へ下りる予定を変え関東ふれあいの道コースに向かった。登りの車力道とうって変わって歩き易くツツジも咲いて快適な道であった。

400段を下って登山口に到着、浜金谷漁港の食堂でフライ定食を！美味でした。

前から気になって行きたかった山、アクセスが厳しいので延び延びに！

思い切って会の山行に挙げたら申し込み頂きました。そして登ったら思い描いていたのに反してハードなところもありましたがモミジの新緑に魅せられました。これからもそんな山を見つけたいと思います。

参加された皆さん有り難うございました。又是非ご一緒に～！

(記・渋谷 京子)